❸ 第３委員会

「科学の楽しさを身近に感じ、豊かな発想を育むまちづくり」

それでは、第３委員会の意見を発表します。

第３委員会のテーマは、「科学の楽しさを身近に感じ、豊かな発想を育むまちづくり」です。

このテーマについて考えるため、私たちは８月18日に、科学館の施設見学を行いました。

そこで、私たちは、学芸員の人たちが、100％お客様が楽しめるよう機械などを確かめていること、閉館後も働いていること、毎月プラネタリウムの内容をかえていること、何時間もかけて映像をつくっていることなどを見てきました。

そこからわかったことは、お客様のために学芸員の人たちのたくさんの努力があること、障害のある方やどんな方でも来られるように、さまざまな世代の人たちに対応できるように、お客様のことを考え、閉館後も展示の仕方を考え、大切にし、毎月、内容をかえていて、また、ここに来たいという気持ちになる工夫がされているということがわかりました。

その後、私たちは、施設見学をしてわかったことや思ったことをもとに、名古屋を「科学の楽しさを身近に感じ、豊かな発想を育むまち」にするためには何をすればいいか、考えました。

それでは、私たちが考えたことを順番に発表します。

○子ども議員

僕が科学館を見学して、こうなったらいいなと思うことが四つあります。

１　プラネタリウムで光を当てて星の説明があるように、実際の空にある星にも当てられるライトがあるといいなと思う。

２　一つの家に一つ地震を感知する機械があれば、すぐに避難できていいと思う。

３　宇宙ステーションが何をしているか、望遠鏡で見てみたい。

４　名古屋に宇宙まで続くエレベーターをつくって宇宙に行けるようになってほしい。

こういうものがあったら今よりもっと科学を身近に感じ、楽しいまちになると思います。

○子ども議員

僕が施設見学を通じて印象に残ったこと、改めて思ったことがあります。それは、車椅子の方用にプラネタリウムの席がとられていることです。そのほかにもエレベーターがたくさんあったり、体が不自由な方への配慮がたくさんありました。

このようなことをポスターなどでもっと広めて、もっとたくさんの人に来てもらうことができるようになれば、科学の楽しさを身近に感じれると思いました。

また、日本でこういう施設があるというのは初めてだと聞いたので、バリアフリーをもっと考えた施設がもっとたくさんできるといいと思いました。

○子ども議員

僕は、科学館に見学に行って、プラネタリウムをつくっている裏の人について調べました。

プラネタリウムをつくっている人たちは、学芸員と言われています。プラネタリウムは１カ月に一つの作品を映しています。５分つくるのに五、六時間かかります。それを７人でつくります。まず、小さなドームで映し、科学館が閉まった後に大きなドームで映して、細かい直しなどをしています。僕はバックヤードの人たちはすごいと思いました。

○子ども議員

私は、科学館へ施設見学をして、科学館にある宇宙の模型や竜巻、プラネタリウムなどを見学しました。

４年生のとき、校外学習で科学館に行ったことがありました。私はまだ10歳だったけど、宇宙のことや音のこと、科学のことにとても興味を持ちました。

８月18日に見学してみて、障害者も気軽に来れるような工夫や、小さい子やお年寄りの方でもわかりやすい解説や説明パネルなどがとてもいいと思います。誰でも気軽に来れるので、科学の楽しさを身近に感じられると思いました。

○子ども議員

私は、名古屋を、「科学の楽しさを身近に感じ、豊かな発想を育むまち」にするには、科学の本や科学に関する施設などに行き、科学を身近に感じ取って自分のものにしたり、自分から進んで科学のことを調べ、みんなに教えて広めることを大切にするといいと思いました。また、みんなで科学館などに行き、
身や心などで感じ取り、それで終わりではなく科学のことをもっともっと調べ、広めるということを繰り返せば、「科学の楽しさを身近に感じ、豊かな発想を育むまち」になると私は考えました。

○子ども議員

私は、科学館でお客様が、より理解しやすくわかりやすく科学について知ってもらうために、子どもでもわかる展示やどの場所から見ても見やすい角度にしてあり、裏では学芸員さんたちのすごい努力があることを知りました。

その努力に応えるために、自分から科学について興味を持ち、より多くのことに疑問を持ち、自分で体験をして学んでいくことが大切だと思います。

科学を難しく考えずに、自分から興味を持てば「科学の楽しさを身近に感じ、豊かな発想を育むまち」になると思います。

○子ども議員

プラネタリウムはなるべく大きくして、実際の空と同じようにしています。そして、毎月内容をかえることによって、かわる星空を再現できます。科学館で勉強をして、家から星空を見上げて、家でも科学の勉強ができるようになっています。

星空は夜にいつも上にあるので身近にあります。なので、夜には星空を見て楽しく勉強をすることができます。星空のことがわかると、方角や季節などいろいろな情報を得ることができ、生活に役立てることができます。

○子ども議員

私は、車椅子を使った人が身近に来ることができるのは、とてもいい工夫だと思います。私は、障害のある人が入るようになっている遮音室があることを私は何も知らなかったので、すごく静かだなと思っていました。もっと、ほかの施設にもそのような場所をつくっておくと、どんな方でも、どんな場所でもみんなと気軽に来られるようにしているといいと思います。施設の廊下は、なるべく広くして、エレベーターも特別な大きなものを使わなくてもよいようにすると、よりよくなると思います。

○子ども議員

僕は、施設見学で、科学館では学芸員の人たちが、お客さんに楽しく見てもらうためにたくさんの努力や工夫をしていることを知りました。

プラネタリウムでは、季節の星や宇宙に合わせ、毎月違う内容を上映し、興味を深めてもらうようにしています。また、映像を楽しくわかりやすく見てもらうため、説明のしゃべり方も工夫していました。

僕は、「科学の楽しさを身近に感じ、豊かな発想を育むまち」にするには、科学館で知識豊富な学芸員の人の話を聞く機会をたくさんつくるとよいと感じました。そして、年齢に応じて話の内容をかえれば、より科学を身近に感じ、楽しさが伝わると思います。

○子ども議員

私は、「科学の楽しさを身近に感じ、豊かな発想を育むまち」にするには、名古屋市科学館みたいな利用しやすくわかりやすい工夫がされている施設をもっとたくさんつくればいいと思います。そのほかにも、学校の授業で宇宙や科学のことをもう少し詳しくやったり、科学や宇宙を楽しく学んだり体験できるイベントを、もっとたくさん行えばいいと思います。

このようにさまざまな工夫をして、科学の楽しさを身近に感じてもらえればいいと思いました。

○子ども議員

僕は、科学館の館長さんのお話を聞いたり見学したりして、スタッフの方々が夜遅くまで働いていることがわかりました。僕がいつも科学館を楽しめているのは、その方々のおかげだったんだと知りました。ぜひこのことをたくさんの人に知ってもらいたいと思いました。

例えば小さな子でも楽しめるイベントや、宇宙飛行士を呼んでお話が聞けたりするのもいいと思います。また、スタッフの方々をお手伝いできるボランティア活動ができたらうれしいです。

○子ども議員

私は、町中に科学に関する看板を設置したり、科学に関する体験ツアーを行えばよいと思いました。町中の目につきやすいところに置けば、科学を身近に感じることができ、ツアーを行えば科学について考えるよいきっかけになると思います。

また、豊かな発想を育むために科学に関する絵や作文などを募集するというのはどうでしょう。科学を難しいものと考えずに、楽しく科学を学ぶ工夫を町中にすればよいと思います。なので、このようなことを行えば、科学を身近に感じることができると思います。

○子ども議員

まず、科学の楽しさを身近に感じるには、実際にやってみることだと思います。僕が理科の授業でわくわくするときは、やっぱり実際にやってみたり実験するときだからです。

でも、理科の授業は毎日ないし、時間も１時間分だけです。実験の途中でチャイムが鳴ってしまうこともあります。だから、一日中、または２時間連続とかでもいいから、理科の実験に集中できる日があればいいなと思いました。

私たち第３委員会は、このようなことが名古屋を「科学の楽しさを身近に感じ、豊かな発想を育むまち」にするために必要だと考えました。

これで、第３委員会の発表を終わります。

■岡本教育子ども委員長の答弁

第３委員会の13人の議員の皆様、大変すばらしい発言をしていただき、ありがとうございました。

今回皆さんは、約２倍の倍率で選び抜かれて、子ども議員になられたわけですが、学年もまた学校も違う人たちが集まり、最初はたくさん緊張したり大変だったと思います。そんな中でも、自分の意見を積極的に発言し、議論を重ねて徐々に第３委員会みんなの連帯感が出てき、仲よくなれたのではないかと感じました。

そして、子ども委員長さん、子ども副委員長さんを中心として、みんなで力を合わせ、今回の立派な意見発表をつくり上げることができ、私たち大変感動させていただいております。

我々第３委員会の学んだことは、「科学の楽しさを身近に感じ、豊かな発想を育むまち」をテーマに科学館に行き、職員の方から、宇宙のことやら大変興味深いお話、そしてプラネタリウムでは、皆さんから先ほど発言がありましたけれども、作成現場、普通は入ることができない場所にも入れていただき、見学をしましたね。

そこで、誰もが科学について楽しめるよう、職員の皆さんが、よりよい展示方法や夜遅くまで作業をしていたり、障害がある方でも一緒にプラネタリウムを見ることができる部屋などを見せていただき、楽しくまたいろんな工夫があることを学ぶことができたと思っています。また、皆さん一人一人、大変発想豊かな意見、提案をいただいたと思っております。科学というものは、そういった柔軟な発想の積み重ねによって、日々発展していくものだと思っています。

これから皆さんは、広い宇宙的な視野を持って、常識にとらわれない広い発想を持ってですね、これから名古屋だけではなくて、世界へ飛び出し、活躍ができる人を目指していただきたいと強く思っております。

我々議員も、本日いただいた御意見、御提案をしっかりと受けとめるとともに、皆様に負けないように豊かな発想で、この名古屋が少しでも住みやすくなるよう日々努力いたしますことを、改めてこの場でお約束させていただきます。

最後になりますが、浅井副委員長、余語副委員長、また、加賀先生、田中先生を代表して、第３委員会の皆様に心から感謝申し上げて、私の答弁とさせていただきます。本当に３日間ありがとうございました。